

### 3. 防災について

#### 問 1 1 あなたが、最も心配な災害は何ですか。(単一回答)

- ・「震災」(86.1%)の割合が9割近く占めており、最も高く、「風水害」(10.5%)は、1割程度となっている。

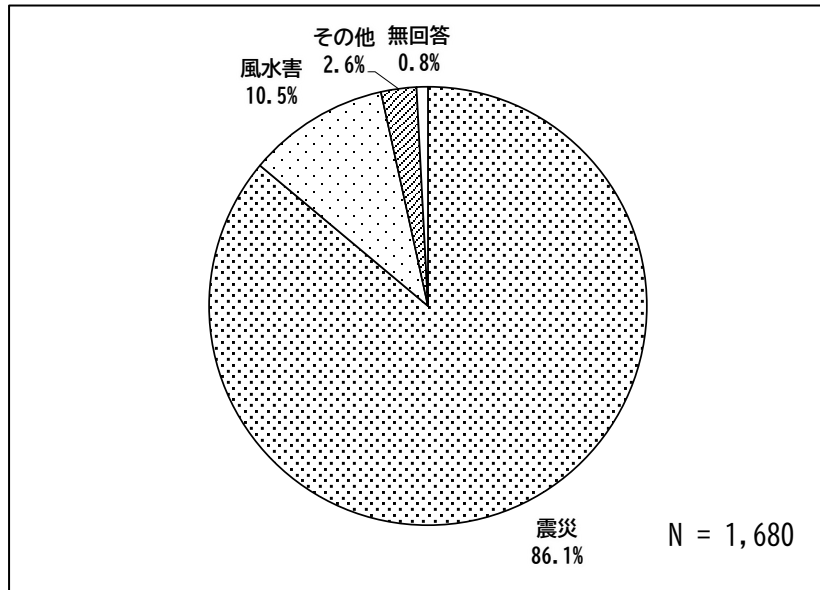


図 最も心配な災害

#### 問 1 2 次に挙げる震災時における避難場所・避難所について、場所や役割を知っているものを選択してください。(複数回答)

- ・「広域避難場所」(60.6%)の割合が最も高く、6割を超えている。次いで「地域防災拠点」(39.6%)、「いっとき避難場所」(23.8%)となっている。一方、「いずれも知らない」(15.2%)については1割半を超えている。

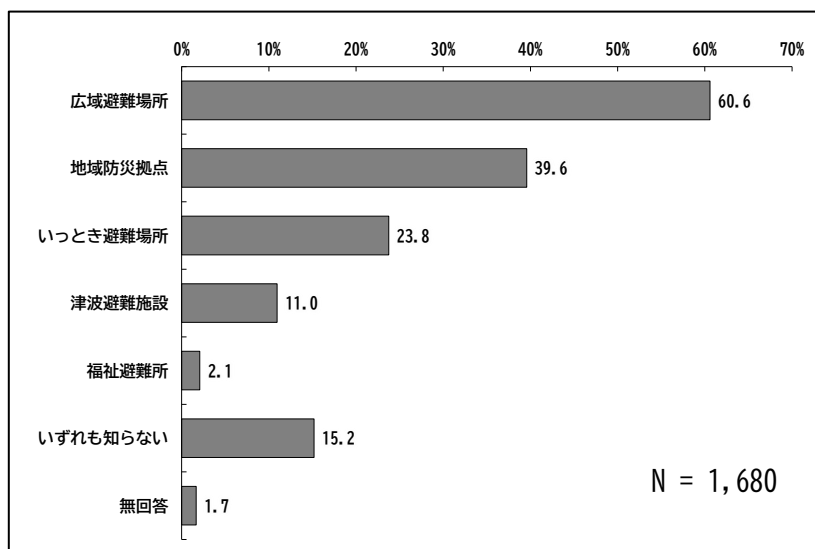


図 避難場所・避難所認知度

■ 令和元年度調査との比較

・前提として R1 調査では、内訳は無く、「地域の震災時の避難場所を知っていますか。」のみなので、認知のみの比較であるが、「知っている」が共に 8 割を超えている。

※R5 調査の「知っている」は「避難所を知っているとした人の合計」

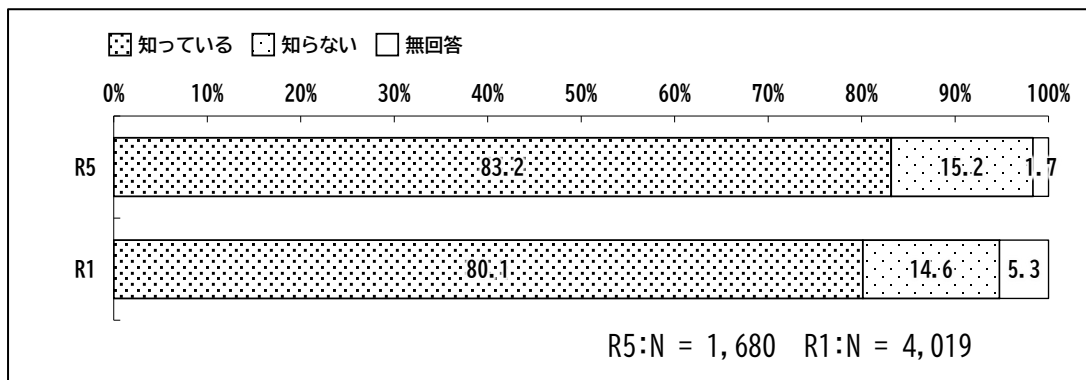


図 避難場所・避難所について

問 1 3 あなたは、風水害の防災気象情報、避難情報をどのような方法で情報収集していますか。(複数回答)

・「テレビ・ラジオ」(74.3%)と「スマートフォン」(69.8%)ともに 7 割前後を占めている。次に割合が高い項目になると、大幅に減り、「横浜市防災情報 E メール」(12.9%)、「パソコン」(12.6%)となる。

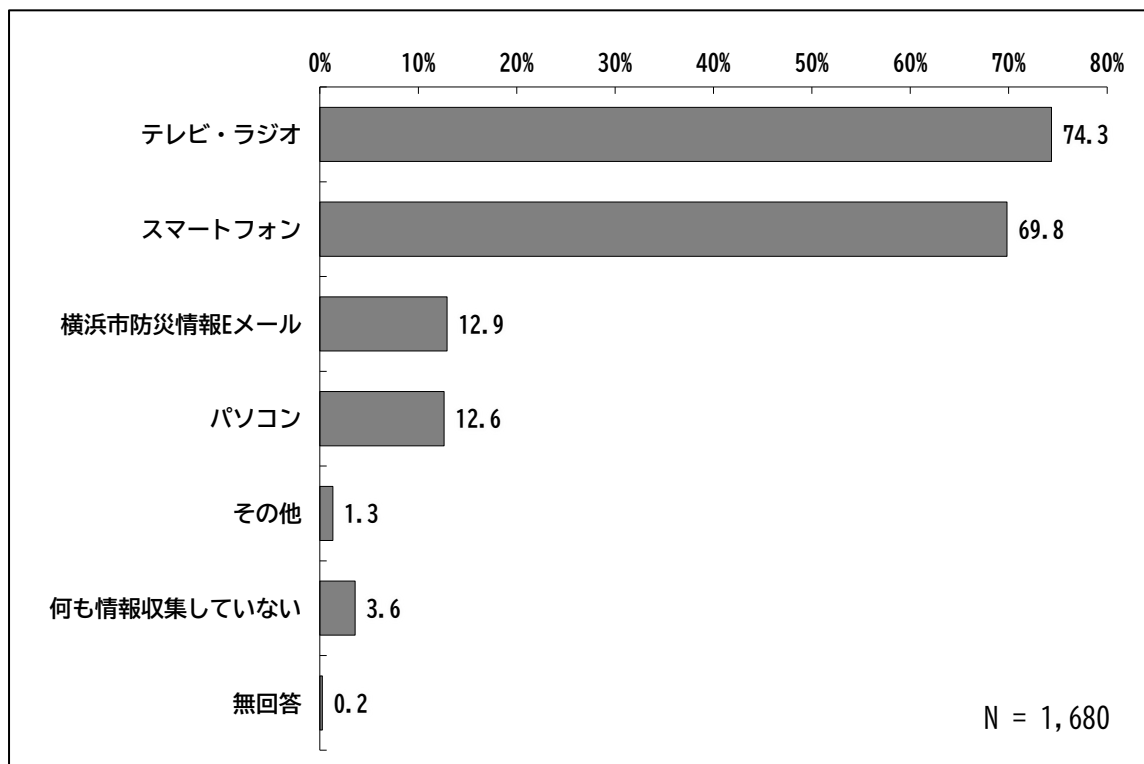


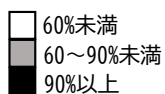
図 防災気象情報、避難情報 情報収集方法

■ 防災気象情報、避難情報 情報収集方法（年齢別）

- ・年代が上がるに従い、「テレビ・ラジオ」の割合が、上昇する傾向になっており、40代以上は、6割を超えている。「スマートフォン」の割合は、60歳以下の年代で、7割を超えており、70歳以上のみ5割を下回っている。
- ・「パソコン」、「横浜市防災情報Eメール」は、全年代を通じて、割合が低く、2割に満たない。

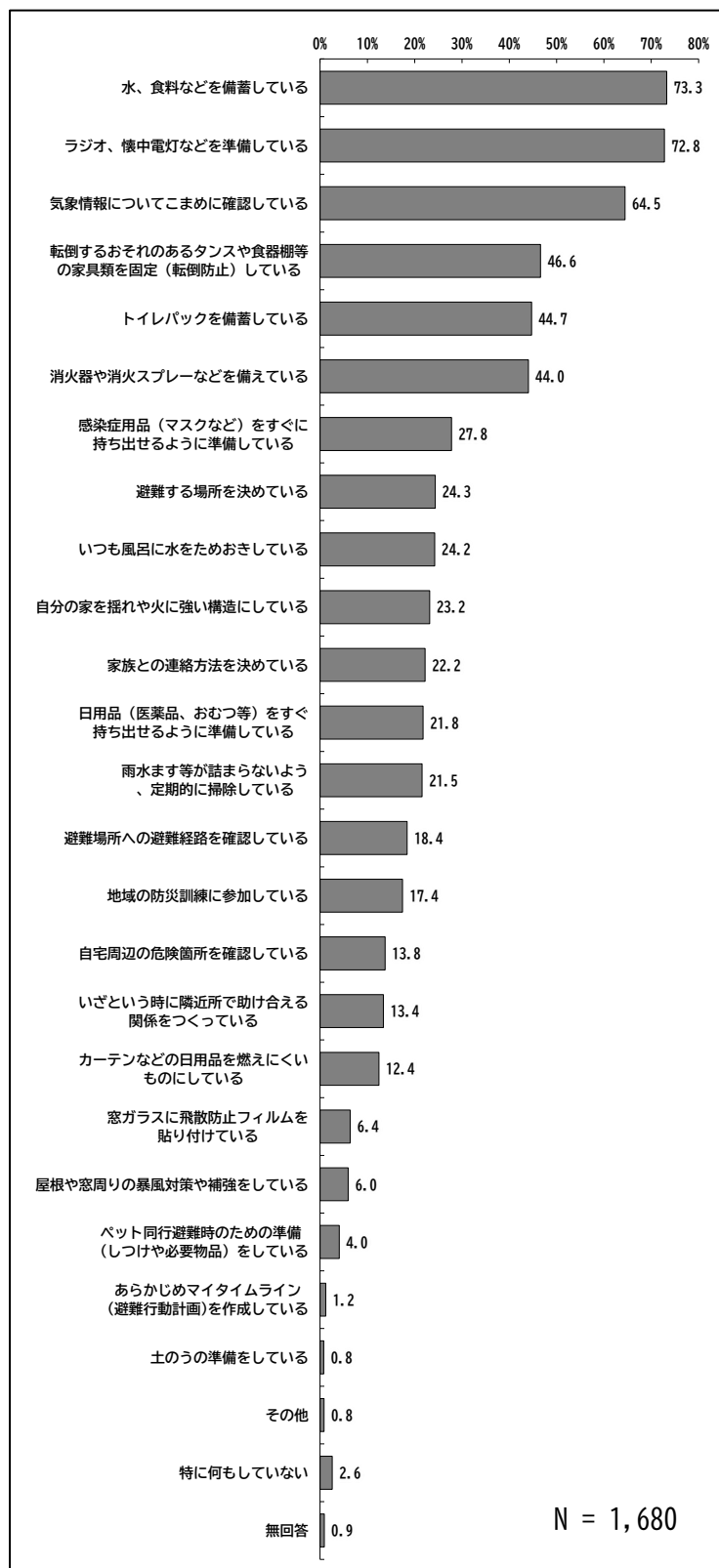
表 防災気象情報、避難情報 情報収集方法（年齢別）

		合計	問13 防災・避難情報の情報収集をどのような方法で行っているか (%)						
			テレビ・ラジオ	パソコン	スマートフォン	横浜市防災情報Eメール	その他	何も情報収集していない	無回答
		(N)							
全体		1680	74.3	12.6	69.8	12.9	1.3	3.6	0.2
F2 年齢	10 歳代～20 歳代	114	53.5	9.6	85.1	7.9	0.9	11.4	0.0
	30 歳代	134	50.7	15.7	85.8	12.7	0.7	6.0	0.7
	40 歳代	233	60.5	15.0	87.1	12.0	0.9	3.9	0.0
	50 歳代	300	65.7	14.0	80.7	13.0	0.7	4.7	0.0
	60 歳代	305	79.7	12.8	77.4	13.8	1.3	1.6	0.7
	70 歳以上	571	91.2	11.0	47.6	14.0	2.1	1.6	0.2
	65歳～74歳	341	86.8	12.0	65.4	14.1	0.9	1.8	0.3
	75歳以上	359	92.8	10.6	39.6	14.2	3.1	1.4	0.3
	無回答	23	78.3	4.3	34.8	8.7	0.0	8.7	0.0



**問 1 4 あなたや、あなたのご家庭では、災害に備えてどのような対策をしていますか。（複数回答）**

- ・災害に備えて「水、食料などを備蓄している」(73.3%)、「ラジオ、懐中電灯などを準備している」(72.8%)が、いずれも7割を超えている。一方、「トイレパックを備蓄している」(44.7%)については5割を下回っており、必需品としての認知度が低い。また、「避難する場所を決めている」(24.3%)は2割ほどに留まっている。



**図 災害対策**